

トランスペアレンシー・インターナショナルUKから世界の防衛企業へ
ガバナンス体制についてのアンケート（仮訳）

- A 1 御社では社長や取締役による倫理や腐敗防止への言明がありますか。
- A 2 御社では社長や取締役が倫理や腐敗防止について自ら強く長期的な方針を表明したことがありますか。
- A 3 御社では社長や取締役が会社のあらゆる階層に対して倫理や腐敗防止を推し進めるよう自ら強く訴えたことはありますか。
- A 4 御社では誠実、信頼、透明性、倫理、説明責任を含む行動原則が公開されていますか。
- A 5 御社では腐敗対策や企業倫理を高める国内外の運動に参加していますか。
- A 6 御社では倫理担当の役員をおいていますか。
- 7 御社には企業倫理を遂行する上級管理職がいますか。（上級とは取締役会に直接報告するレベル）
- 8 企業倫理や腐敗対策を監視する常設の役員レベルの監視機関がありますか。
- 9 御社には実際の腐敗を疑われる事例が生じたときそれを振り返り方針や企業行動を変える公式な手続きや機関がありますか。
- 1 0 御社には将来起こりうる営業上の決定に対して事前に腐敗リスクを診断する公式な診断手段、手続きがありますか。
- 1 1 御社には業者選定にあたって腐敗リスクを減らすための査定を行っていますか。
- 1 2 御社では業者の行動やモニター、統制や監査にあたって腐敗対策を考慮していますか。
- 1 3 御社では仲介業者や代理店、業者に対し、贈賄や腐敗対策や、それに違反したとき場合のことを明確に伝えていますか。
- 1 4 .
- 1 5 御社ではさまざまな腐敗を禁じる腐敗対策方針がありますか。

16. その腐敗対策は腐敗をぜったいに許さない（ゼロトレランス）というものですか。
17. 御社の腐敗対策方針は取締役、従業員、契約スタッフや業者に浸透していますか。
18. 御社の腐敗対策方針は全従業員と取締役に適用しますか。
- 19.
20. 御社には従業員や取締役に適用する利益相反に関する方針がありますか。
21. 御社には贈答品のやりとりは賄賂のはじまりでありいい訳できないと明言する方針がありますか。
22. 御社の腐敗対策方針には接待は賄賂のはじまりであり言い訳はできないとの明確な方針がありますか。
23. 御社にはファシリテーション・ペイメント（不正な営業上の利益取得の意図のない、小額賄賂）を禁じる規定がありますか。
24. 御社では政治的影響力や贈賄の意図をもって行う政治献金等を禁じていますか。御社では政治献金をすべて記録し公開していますか。
25. 御社には政治的な影響力や贈賄の意図をもってロビー活動を防ぐ方針がありますか。政治家と接触を公開していますか。
26. 御社では取締役会や従業員に対して会社の倫理方針と腐敗対策要綱を書面にしていますか。
27. 御社では腐敗対策の研修がありますか。
28. その研修は海外拠点でも行われていますか。
29. 取締役に向けた腐敗対策研修を行っていますか。
30. 御社は汚職リスクの高い地位にある従業員に対して特別な倫理・腐敗防止教育をして

いますか。

- 3 1 御社にでは従業員が利益相反を深刻できる公式手続きがありますか。
- 3 2 御社では腐敗に手を染めた従業員や管理職、取締役に懲戒手続きを行いますか。
- 3 3 御社には腐敗の懸念があったとき従業員が簡単に安全で匿名で（ネットや電話、直接に）通報できる手段が複数ありますか。また、それが周知されていますか。
- 3 4 御社には従業員なら誰でも腐敗関連の事案を相談できる部門がありますか。
- 3 5 御社では腐敗を告発しても報復を受けないことが保証されていますか。